

2026年度（令和8年度）

やまがたAI部運営コンソーシアム総会

日時：2026年 5月25日（月） 16:00～17:00

場所：スタートアップステーション ジョージ山形 / Zoom

会長挨拶

やまがたAI部運営コンソーシアム

会長 松本 晋一

1. 支えてくださる皆さまへの感謝
2. 「AI甲子園 in やまがた」で実感した高校生の可能性
3. 山形発の活動を、山形でさらに根づかせるために

第1号議案
2025年度（令和7年度）事業報告

2025年度 活動報告 (高校生AI部)

✓ 山形発の活動が東北を起点に中国・九州地区へ拡大し、
全国72校400名規模のAI教育ネットワークへ成長

【やまがたAI部 (10/28時点)】

【せんだいAI部 (10/6時点)】

【ひろしまAI部 (9/19時点)】

山形県内：16校、県外：10校

宮城県内：6校

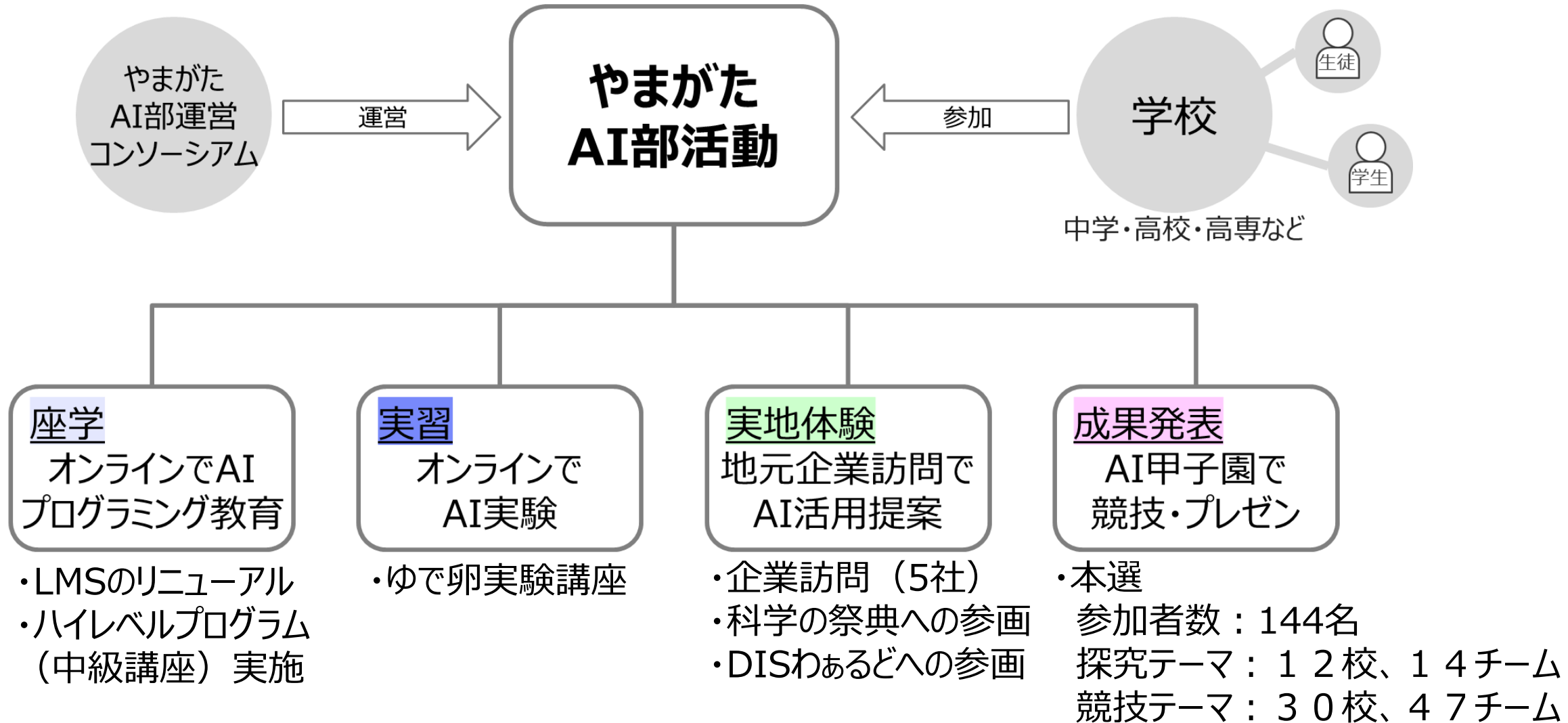
広島県内：40校

山形県立米沢興譲館高等学校	岩手県立盛岡第一高等学校
山形県立寒河江工業高等学校	岩手県立黒沢尻工業高等学校
山形県立寒河江高等学校	岩手県立水沢工業高等学校
東北文教大学山形城北高等学校	東京都立多摩科学技術高等学校
惺山高等学校	京都府立乙訓高等学校
山形県立酒田光陵高等学校	福岡女子商業高等学校
山形市立商業高等学校	熊本県立宇土高等学校
山形県立山形中央高等学校	鹿児島市立鹿児島商業高等学校
日本大学山形高等学校	鹿児島情報高等学校
山形県立酒田東高等学校	高等専修学校秋田クラーク高等学院
山形県立高畠高等学校	
山形県立上山明新館高等学校	
山形県立山形工業高等学校	
山形県立東桜学館高等学校	
米沢中央高等学校	
山形県立小国高等学校	

宮城県仙台第二高等学校
東北学院高等学校
仙台育英学園高等学校
聖ウルスラ学院英智高等学校
仙台高等専門学校
東北インターナショナルスクール

呉工業高等専門学校	広島県立府中高等学校
広島商船高等専門学校	広島県立三原高等学校
広島大学附属高等学校	広島市立広島工業高等学校
広島大学附属福山高等学校	広島市立広島商業高等学校
広島県立五日市高等学校	広島市立美鈴が丘高等学校
広島県立賀茂高等学校	広島市立基町高等学校
広島県立賀茂北高等学校	広島県尾道南高等学校
広島県立祇園北高等学校	盈進高等学校
広島県立呉商業高等学校	英数学館高等学校
広島県立呉三津田高等学校	N高グループ広島キャンパス
広島県立上下高等学校	クラーク記念国際高等学校広島キャンパス
広島県立庄原格致高等学校	シンギュラリティ高等学校
広島県立総合技術高等学校	進徳女子高等学校
広島県立大門高等学校	崇徳高等学校
広島県立広高等学校	広島学院高等学校
広島県立広島高等学校	広島工業大学高等学校
広島県立広島井口高等学校	広島県瀬戸内高等学校
広島県立広島叡智学園高等学校	広島修道大学ひろしま協創高等学校
広島県立広島国泰寺高等学校	広島城北高等学校
広島県立広島皆実高等学校	安田女子高等学校

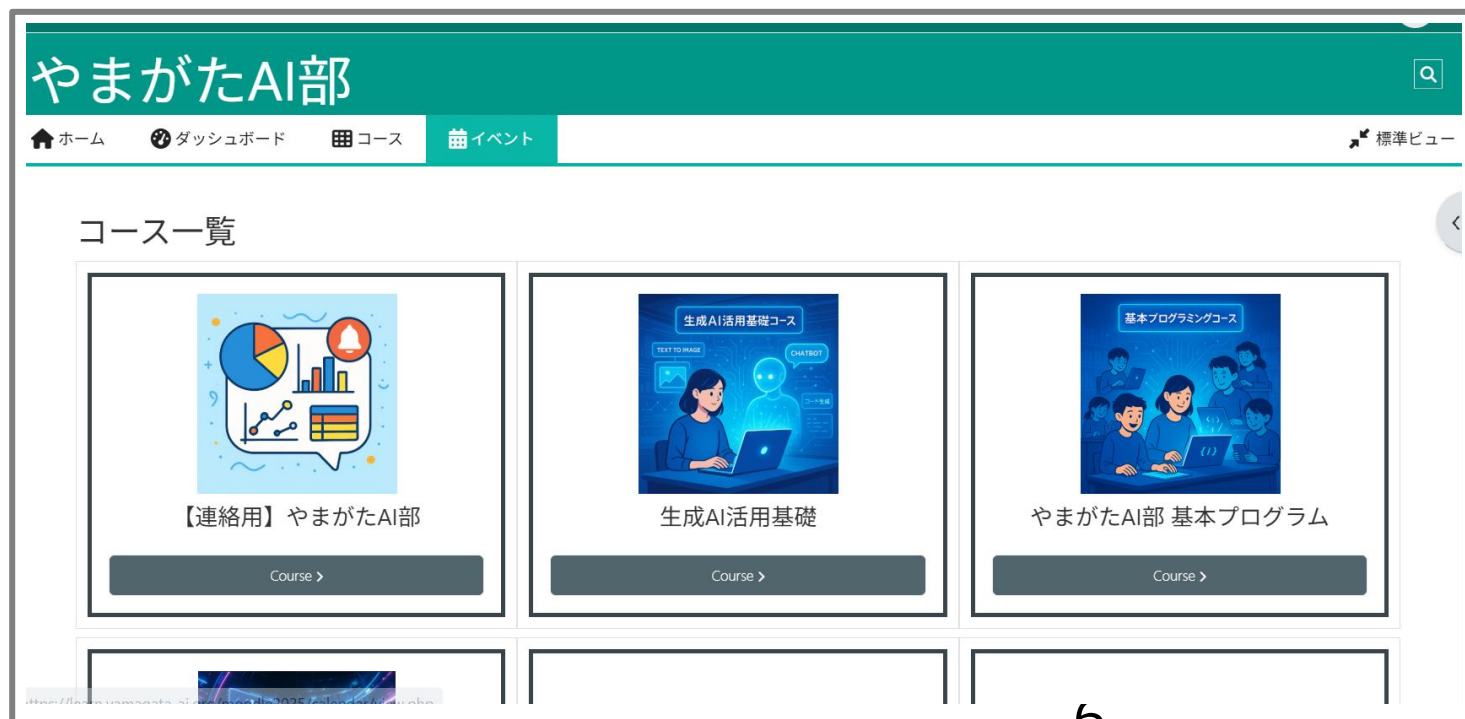
✓ AIを“学ぶ”から“社会で活かす”へ



✓ オンライン座学…LMSのリニューアル

2025年度用の学習環境構築に合わせ、以下の改善を行いました。

- スマホ、タブレットでも学習できるマルチデバイス機能の追加
- 連絡用ツールとしての活用

パソコン画面スマホ画面

✓オンライン座学（ハイレベルプログラム）開講

受講者・修了者とも昨年度と同規模で、**修了者増には至らなかった。**

✓生成AIの普及により高校教育におけるプログラム学習の位置づけも変わってきている。（別途、生成AI活用実践講座を開講）

✓山形大学新講座「データサイエンス基礎・応用」開講に向け準備中。

講座名	修了者 /受講者	修了者	実施内容
中級講座	12名/46名	生徒7名（米沢興譲館1名、酒田光陵1名） 教員3名（県外校） 一般2名（県内企業）	期間：2025年7月～12月 プロンプト編（3回）、 Python プログラム編（7回）
上級講座	8名/46名	生徒3名（県外校） 教員4名（県外校） 一般1名（県内企業）	期間：2025年10月～2026年1月 山形大学データサイエンスコースの3,4 年生向けのものからAI技術の中の深 層学習(教師あり学習)を中心に構成。

✓ オンライン座学…実習…ゆで卵実験講座 (ハイブリッド) 実施

9/20(土) 10:00~12:00 米沢興譲館高校より配信

参加 8校 県内6校…寒河江工業高校、寒河江高校、山形中央高校、酒田光陵高校、
酒田東高校、米沢興譲館高校
県外2校…鹿児島情報高校、宇土高校

生徒の感想

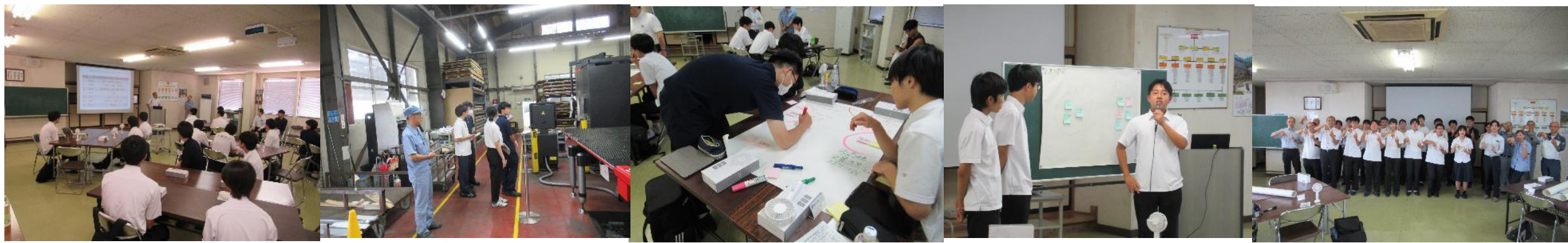
- ゆで卵の調理方法という経験値がAIモデルで推論できることが分かった。
- データのとり方や卵の個体差など条件の違いで結果に差がでることによって難しいと思った。
- 実際に手を動かしてゆで卵を作りながら学べて楽しかった。



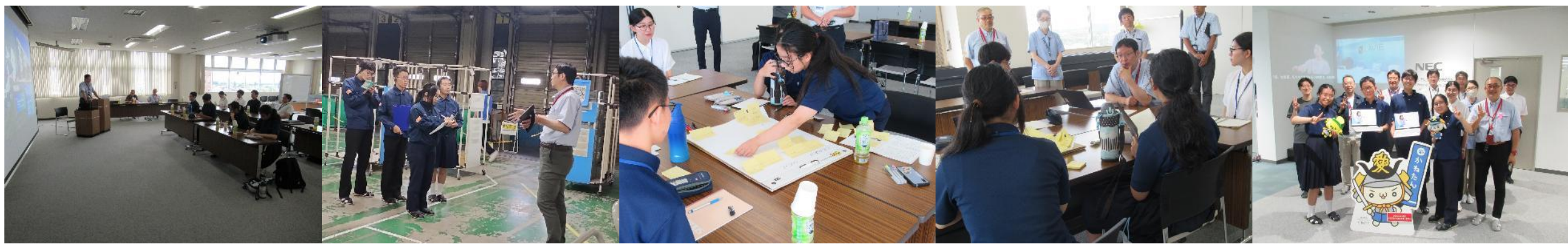
✓ 実地体験…企業訪問や地域イベントへの参画

- 8月 6日 企業訪問 (京浜パネル工業株式会社 山形工場 様)
5校16名参加
- 8月 7日 企業訪問 (NECパーソナルコンピュータ株式会社 米沢事業場 様)
1校4名 + OG 1名参加
- 8月 8日 企業訪問 (株式会社 ユーテック 様)
1校4名参加
- 9月13日 青少年のための科学の祭典in山形
3校19名参加 一般196名がワークショップを体験
- 10月27日 オンライン企業訪問 (SMBC日興証券株式会社山形支社 様)
3校25名参加
- 12月26日 企業訪問 (株式会社 新庄エレメックス 様)
3校10名参加

- ✓実地体験…企業訪問：京浜パネル工業株式会社 山形工場 様
 - ・8月6日(水) 13:45-16:30 ・山形県村山市
 - ・5校16名参加 (寒河江工業、寒河江、山形城北、山形中央、日大山形) OG1名
 - ・見学テーマ：組立・検査工程でAI化DX化できる作業を探してください
 - ・成果・提案：
 - ・組立工程の確認 (検査) を行うAI
 - ・サビや腐食などを色で学習し、製品の不具合を判別するAI
 - ・不具合報告に対して、改善方法を提案するAIチャットボット
 - ・塗装工程で塗装色の誤差を識別するAI
 - ・ピックアップ作業の自動化や所在を見える化するシステム
 - ・受入企業の声：当たり前と考えていたことが、実は課題や問題点になり得ることに気づかされ、大変貴重な機会となった。



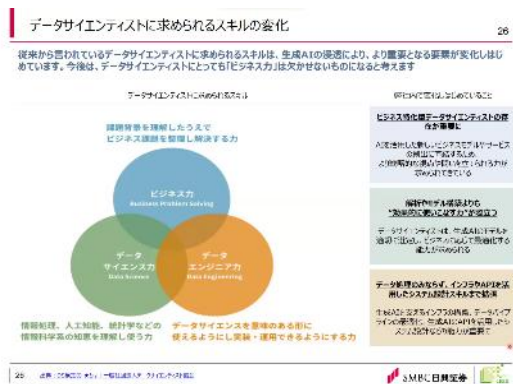
- ✓実地体験…企業訪問：NECパーソナルコンピュータ株式会社米沢事業場 様
 - ・8月7日(木) 13:30-16:20 ・山形県米沢市
 - ・1校 (米沢興譲館高校) 4名参加、OG1名
 - ・見学テーマ：AIを使ってパソコンの製造方法を変えてみよう
 - ・成果・提案：
 - ・パソコンの知識がない人にも、ニーズに合った構成を提案するチャットボット
 - ・栄養バランスを考慮して食堂メニューを提案するAI
 - ・企業戦略の一致からWin-Winの関係を築けそうな企業を発掘・マッチングするAI
 - ・動作解析によって誤った作業を検出するAI
 - ・受入企業の声：このような有意義な機会や活動への参加は、地域の企業全体にとってもプラスになると感じており、工業会にも広げていきたい。



- ✓実地体験…企業訪問：株式会社 ユーテック 様
 - ・8月8日(金) 13:30-16:50 ・山形県酒田市
 - ・1校 (酒田光陵高校) 4名参加
 - ・見学テーマ：DX導入企業ユーテックのAI活用アイデアを考えよう！
 - ・成果・提案：
 - ・一品物でも加工プログラムを自動生成できるAI
 - ・設計図面をデジタル化し、見やすく管理できるシステム
 - ・作業の出来や個人差を減らすため、動作を読み取り解析するAI
 - ・繰り返し作業を自動化し、作業効率の向上と時間短縮を図る機械・AI
 - ・設計図をデータ化し、組立に必要な部品や工程を音声で案内するシステム
 - ・受入企業の声：生徒の皆さまが熱心に見学し、自分たちのことのように真剣に考えてた提案は、とっても貴重な意見となりました。



- ✓実地体験…企業訪問 (オンライン) : SMBC日興証券株式会社 様
- 10月27日(月) 16:30-17:45
- 山形県立山形中央高等学校+Zoom
- 3校 (山形中央高校、山形工業高校、酒田光陵高校) 25名参加
- 見学テーマ: SMBC日興証券におけるAI活用について
- 成果・提案:
 - 会議の要点を自動でまとめたり、PowerPoint資料を自動作成し生産性を上げるAI
 - 株価や市場動向をリアルタイムで分析・予測し、最適な投資プランを提案するAI
 - お客さんの性格や話し方を分析し、ぴったりの投資プランを提示するAI
 - 問合せ対応で過去回答を提示する仕組みや契約文書や社内報告書の文言チェックするAI
 - 会議内容を要約し議事録を作成するAI
 - ニュースや経済データを解析し、取引に影響を与える要因を自動で検出・可視化しリスクを管理するAI



- ✓ 実地体験…企業訪問：株式会社新庄エレメックス 様
 - ・12月26日(金) 13:00-15:40 ・山形県新庄市
 - ・3校 (酒田光陵高校、寒河江高校、山形中高高校) 10名参加
 - ・見学テーマ：新庄エレメックスにおけるAI活用アイデアを出そう！！
 - ・成果・提案：
 - ・測定値や紙資料のデジタル化による、データ管理の精度と利便性の向上
 - ・GeminiやGoogleドライブの活用による、情報を検索・共有しやすい環境の整備
 - ・QRコード、ランプ、AIの活用による、部品や設備の状態の見える化
 - ・AI、音声、マクロの活用による、作業の自動化と省力化の推進
 - ・SNS、Webサイト、社員教育、福利厚生充実による、会社の魅力向上
 - ・受入企業の声：生徒の着眼点や発想から多くを学び、実践したい提案も得られた。社員の意欲向上にもつながる有意義な活動であった。



✓実地体験…企業訪問【参加生徒の評価】

- 満足度：4.4/5.0（回答数50件）
- 生徒の声
 - 企業でAIが実際にどのように使われているのを知ることができ、とても参考になった。
 - 工場の設備や製造工程を間近で見ることができ、ものづくりの現場への関心が高まった。
 - 企業の課題を自分たちで考え、AIでどう解決できるかを話し合う経験が印象に残った。
 - 地元にも魅力的な企業があることを知ることができ、将来を考えるうえで視野が広がった。
 - AIやデータ分析は、これからの社会や仕事で大切になると感じた
 - 企業の方の説明が分かりやすく、普段聞けない内容を学ぶことができた。
- 企業訪問を通じて、生徒は企業の業務内容やAIおよびデジタル活用の実態を具体的に理解することができた。現場課題の発見や解決策の検討やRAG・要約・データ分析・投資支援などの事例に触れることで、業務でAIを活用するイメージを深める機会となり、AIの社会実装や職業理解を深める有意義な取組であった。

✓実地体験…企業訪問【受入れ企業の評価】

- 満足度：4.8/5.0（回答数8件）
- 受入れ企業の声
 - 高校生の視点から意見をもらうことで、自分たちでは気づきにくい課題に目を向けることができた。
 - AIやITの活用について、社内でも改めて考えるきっかけになった。
 - 自社の仕事やものづくりの魅力を高校生に知ってもらう良い機会になった。
 - 生徒の発想が柔軟で、社員にとっても刺激になった。
 - 若手社員が生徒対応やグループワークに関わることで、社員教育の面でも効果があった。
 - 高校生の学びに関わることで、将来の人材育成や地域貢献につながる取組だと感じた。
 - 今回の受け入れを通じて、AI活用や業務改善を自社の課題として捉え直すことができ、今後の取組につながる気づきが得られた。
- 受け入れ企業にとっては、高校生の率直な視点や柔軟な発想に触れることで、自社の課題やAI・IT活用の可能性を見直す機会となった。また、自社の魅力発信や業務改善、社員意識の変化にもつながる取組であった。

✓実地体験…企業訪問【総評】

- 本取組は、生徒が企業におけるAI活用や実際の業務内容を理解し、AIの社会実装や職業理解を深める有意義な機会となった。また、受け入れ企業にとっても、高校生ならではの率直な視点や柔軟な発想を通じて、自社の課題やAI・IT活用の可能性を見直す機会となり、自社の魅力発信や業務改善、社員意識の変化にもつながった。
- 生徒・企業双方に学びと気づきをもたらした点で、本取組は教育的価値と社会的意義を兼ね備えた活動である。さらに、地元企業を含む多様な企業と高校生が接点を持つことで、社会や仕事への理解を深める機会となり、将来的な地元定着・地元回帰につながる土台づくりとしても意義がある。
- 企業訪問を単発の見学にとどめず、事前学習、企業課題の共有、訪問時のワークショップ、訪問後の振り返りや提案活動を一連の流れとして設計し、より実践的な学びにつなげていく。特に、生徒が企業の課題を理解したうえで、AIやデータを活用した解決策を検討・発表する機会を増やすことで、探究活動やAI甲子園への接続を強化する。

✓実地体験…青少年のための科学の祭典 in 山形

- ・日時：9月13日 9:00-16:00
- ・場所：霞城セントラル 1階アトリウム
- ・参加校：山形城北高校（生徒4名、顧問1名）、惺山高校（生徒10名、顧問1名）、日大山形高校（生徒5名、顧問1名）
- ・出典内容：ワークショップ「人の手で作ったものをAIで判定してデモを行います！」

子供から大人まで196人が参加。参加した子供達からは「楽しかった、面白かった」などの肯定的な意見がほとんどで、繰り返し挑戦する参加者も多数見受けられました。



✓AI甲子園 (予選)

【期間】 2/24(火)~3/3(火) 【開催方法】 オンライン

【内容】 探究テーマ(予選)、競技テーマ(練習試合)を実施。探究テーマでは
県内12校より上位6校、県外8校より上位5校が、本選出場権を獲得しました。

発表順	山形県		山形県		山形県		県外		県外	
	2/24(火)	参加方法	2/26(木)	参加方法	2/27(金)	参加方法	3/2(月)	参加方法	3/3(火)	参加方法
1	山形城北高校 (山形)	OL	米沢興譲館高校 (山形)	OL	山形市立商業高校 (山形)	OL	福岡女子商業高校 (福岡)	OL	乙訓高校 (京都)	OL
2	惺山高校 (山形)	OL	寒河江工業高校 (山形)	OL	山形中央高校 (山形)	OL	宇土高校 (熊本)	OL	鹿児島情報高校 (鹿児島)	OL
3	日本大学山形高校 (山形)	OL	寒河江高校 (山形)	OL	山形工業高校 (山形)	OL	盛岡第一高校 (岩手)	OL	多摩科学技術高校 (東京)	録画
4	酒田光陵高校 (山形)	OL	上山明新館高校 (山形)	OL			水沢工業高校 (岩手)	OL	鹿児島商業高校 (鹿児島)	録画
5			酒田東高校 (山形)	OL						

✓AI甲子園 (本選)

全国の高校生がつながる場として、全国、台湾から47チーム144名が参加。

初めて、生徒・学生交流タイムや教員・企業の参加者交流の場を設けました。

【日時】 3月20日(金) 10:30~17:30 (山形市立商業高校/オンラインのハイブリッド)

【内容】 探究・競技の各テーマで点数が最も高い高校を最優秀テーマ賞とした。

審査員は、主にAIや情報教育等の専門知識を有する方々に務めていただいた。

台湾の高校が12校参加。新民高級中學が英語で探究発表も披露した。



その場でAIを追加学習させる緊迫した競技



学校入り交りでの交流。2回目は少しリラックス



最後は日本 & 台湾一緒に笑顔で記念撮影

✓ コーチ向けトレーニング

↳ 新たな取り組み実施でコーチ企業にとっても好循環を！！

- ・ やまがたAI部カリキュラムをコーチ企業に公開し、社内教育・新人研修に活用
- ・ コーチミーティング開催で企業間交流の活性化

効果	内容
① コーチ企業の人材育成	<ul style="list-style-type: none">・やまがたAI部のカリキュラムを社内教育・新人教育に活用・若手社員がAIの基礎・応用を体系的に学習・社員が高校生の指導を通じて教育力も向上
② やまがたAI部の教育力アップ	<ul style="list-style-type: none">・企業からのフィードバックで教材や指導方法が改善・実務に近い課題設定が可能になり、学習の質が向上
③ 企業の競争力アップ	<ul style="list-style-type: none">・AI人材の育成が事業の強化につながる・地元高校生との接点が増え、地域密着型のイノベーション促進
④ 雇用の拡大	<ul style="list-style-type: none">・AIスキルを持つ人材が増え、企業の採用力が向上・地元での雇用創出につながる
⑤ やまがたAI部経験者の雇用	<ul style="list-style-type: none">・高校生が企業の活動を理解し、就職意欲が高まる・企業は即戦力となる若手人材を確保できる

✓組織に生成AIを浸透させ、業務改善とDXを推進できる女性リーダーの育成！

✓参加者：民間企業3名、学校教育関係者2名

✓カリキュラム

- オンデマンド研修（やまがたAI部共通）

- ChatGPTオンライン研修 計 9回

✓成果

- 組織や仕事で使えるオリジナルChatGPTの制作

- 「防災AI GPT」「外為判定書手配サポートGPT」「社内規程Q&Aボット」
「学校の時間割作成MyGPT s」

✓評価

実務課題の解決策をMyGPTに実装し、組織関係者と改善効果を共有して、推進者としての知識と実績を示した。

✓ 小中学生へのAI活用の理解促進…産技短中学生向け講習会

AI 2025 やまがた AI 体験教室

目で見て触れて理解する!

2025年12月25日(木)

- 第一部 10:00~12:00
- 第二部 13:00~15:00

山形県立産業技術短期大学校 実験研究棟2階 制御応用実習室
講師: 船場忠幸先生

参加条件
-対象- 中学生以上 ※初心者向け
-定員- 各回20名(保護者同伴可)
参加無料

プログラム内容

- デジタル社会とAIについて(講義)
- 画像識別AIの体験(演習)
- 生成AIについて(講義)
- 画像生成AIと文章生成AIの体験(演習)
- まとめ

持ち物・環境
【必須】 【会場設置(持ち帰り)】
-筆記用具 -USBメモリ、タブレット、ノートPC
※ご自身の機材使用希望の方のみ持参

使用AIツール・注意事項
【使用ツール】
-Copilot、Gemini
※生成AI利用には保護者の同意が必要です

How to apply 申込方法 **CONTACT お問い合わせ**

【申込締切】
2025年12月23日(火)

主催: 山形市
運営: やまがたAI部運営コンソーシアム

【問い合わせ先】
山形市文化スポーツ部 経済動地域移行推進課
TEL: 023-541-1212 (内線925) FAX: 023-615-8452
Email: bukatsudo@city.yamagata-yamagata.lg.jp

右記申し込みフォームよりお申し込みください。

- ・山形市より委託を受け、産技術短期大学校協力のもと、やまがたAI体験教室を実施
- ・山形市内の中中学生をメインとし、午前・午後の部合わせ延べ15名が参加。



✓ ふるさとチョイスGCF

「AI甲子園 in やまがた」で、高校生の学習を支援したい!

カテゴリ: 子ども・教育



「AI甲子園 in やまがた」× 未来へ続く絆

✕ ポスト シェアする

寄付金額 **4,180,000円**

104.5%

目標金額: 4,000,000円

達成率 104.5%	支援人数 143人	終了まで 受付終了
----------------------	---------------------	---------------------

📍 山形県山形市(やまがたけん やまがたし)

♡ お気に入り

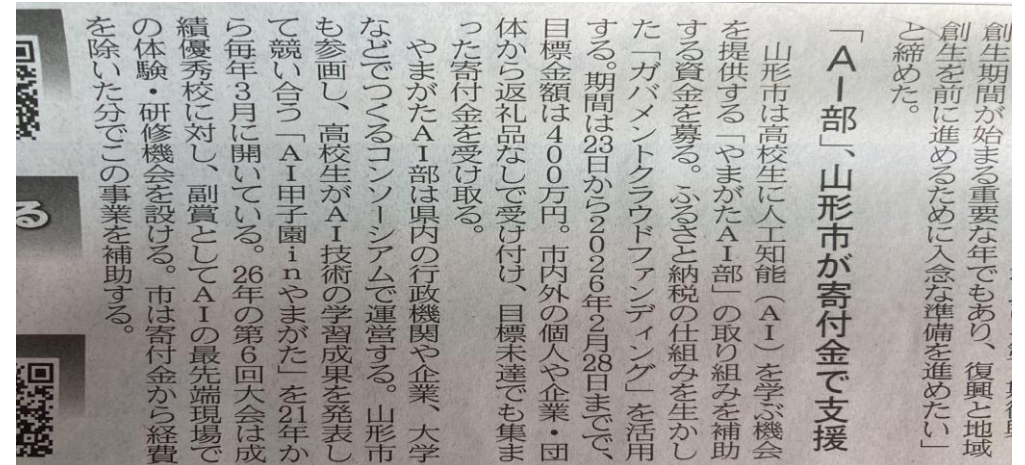
このプロジェクトは終了しました

> 対応している決済方法

寄付募集期間: 2025年12月23日~2026年2月28日 (68日間)

タグ: 子ども・教育 グローバル化

- ・「AI甲子園 in やまがた」において優秀な成績を収めた高校へ、副賞を贈る際の補助金としてふるさと納税型クラウドファンディングを実施。
- ・支援者数143名、目標金額の400万円を上回る418万円の寄付が集まる。



✓ 「DISわあるど in 山形」に出展

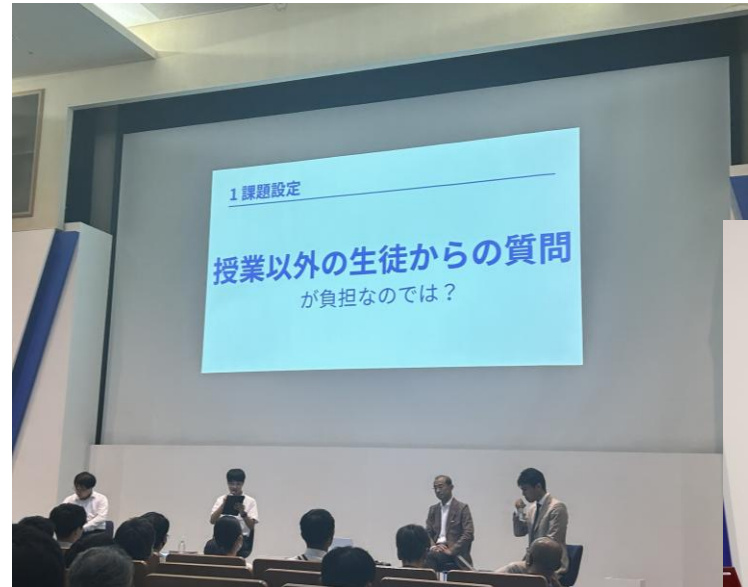
2025年9月10、11日に開催されたDISわあるど山形に出展、
やまがたAI部の活動内容の紹介・展示を行った。

ブース出展



講演 & 質疑・応答

「やまがたAI部の挑戦
～高校生が考えるAIイノベーション～」



やまがたAI部は教育の可能性を広げる場です。生徒が自ら課題を見つけ、解決に向けて取り組む姿勢が育っています。生徒がやりたいという気持ちを止める必要がない。また、教員も生徒と同時に最新技術を学ぶことができる場となっています。



松本会長



佐藤副会長



酒田光陵高校

情報科 湯澤先生、池田さん



2025年度 活動報告 (広報活動)



2025.5.29 山形新聞掲載



2025年度 YAMAGATA QUEST掲載



2025.10.8 山形新聞掲載

第2814回 教育が拓く山形の未来



2026.1.31 NHK「提言の広場」

2025年度 活動報告 (広報活動)

社会

業務効率化で人件費削減効果も 高校生が証券会社のAI活用例を学ぶ 「やまがたAI部」の生徒が企業訪問

2025年10月28日 18:27



2025.10.28 山形放送

山形市で「AI甲子園」開催 部活動でAIを学んでいる高校生が学習の成果を競う



2026.3.20 山形テレビ

AI甲子園 日台31校競う 山形で開催 オンライン併用



人工知能(AI)について学ぶ部活動「AI部」に所属する高校生が活動成果を競い合う「AI甲子園」が20日、山形市の山形商業高でオンラインを併用して開かれた。台湾から参加した10校を

含む31校46チームの生徒約100人が活用術を披露した。

画像認識AIを使い、航空写真から施設名を予測する精度を競う「競技AI」部門に31校45チーム、AIを駆使して実生活の問題解

身近な問題をテーマにAIを駆使した解決方法などを発表する高校生 =山形市・山形商業高

決に取り組む探究テーマ部門には13校15チームが出場した。各部門で1〜3位を選び、県内からは探究AI部門で、上山明新館高と寒河江工業高が審査員奨励賞を受けた。

探究テーマでは、視覚障害者向け信号機の色識別アプリ開発、10年後にヒットする映画を予測した予告動画製作、クマの出没リスクを予測するマップ作成などの活動成果を発表した。米沢興譲館高2年小林恒平さん(17)は「大量のデータを持つ可能性の大きさを感じた」と振り返った。

県内の企業や教育機関、自治体でつくる「やまがたAI部運営コンソーシアム」(松本晋一会長)が主催し、6回目。本県からは両部門に10校が参加した

が上位入賞はいずれも県外のチームだった。

今大会では、山形市がガバメントクラウドファンディング(GCF)で副賞の資金を募集。集まった寄付金は、台湾への研修費として各部門1位のチームに贈られた。(柳沢明子)

後期日程合格者発表
山形大

山形大は20日、2026年度一般選抜後期日程の合格者を発表した。後期日程を設けていない教育学部を除く5学部と社会共創デジタル学環の合格者は計173人。県内出身者が占める割合は14.5%で、実質倍率は2.7倍だった。(近岡国史)

紙面編集・青木翔平

学びのフロンティア 佐藤俊一 やまがたAI部



山形県の未来を高校生が変える! やまがたAI部から

やまがたAI部創設当時の紹介画像

部活動から「AI部」がいつの間にか「山形県」の代表として活躍しています。企業、大学、自治体、行政は山形県で活躍するAI部を応援しています。「AI部」が、AIの力で山形県を盛り立てていくことを目指しています。

「AI部」は、山形県に「AI部」を創設し、活動の場を広げ、AIの力で山形県を盛り立てていくことを目指しています。

「AI部」は、山形県に「AI部」を創設し、活動の場を広げ、AIの力で山形県を盛り立てていくことを目指しています。

2026.4.18 山形新聞掲載

AI甲子園 in やまがた



05月02日付 教育欄内 掲載 紙対面108 202604030817441953P
1E+08A35814C425264802599B・学びのフロンティア2 62面 0+ 69日 0

「AI甲子園」は、山形県に「AI部」を創設し、活動の場を広げ、AIの力で山形県を盛り立てていくことを目指しています。

「AI部」は、山形県に「AI部」を創設し、活動の場を広げ、AIの力で山形県を盛り立てていくことを目指しています。

2026.5.2 山形新聞掲載

2026.3.28 山形新聞掲載

やまがたAI部
本年度活動始動 寒河江

「甲子園」めざし決意

県内外の高校生が人工知能(AI)について学ぶ部活動「やまがたAI部」の本年度キックオフイベントが7日、寒河江市の寒河江工業高で開かれた。写真。県内10校を含む計13校の生徒が、AIを使ったクイズで交流。来年3月に開催予定のAI甲子園を目指し、決意表明した。



は、AIが作った画像の基になった言葉を考えるなどのクイズを出題。他校の生徒が解答して盛り上がった。決意表明で、同校ロボットエンジニア科3年の斎藤尊さん(17)は「本年度は頂点を目指したい」などと意気込んだ。

やまがたAI部運営コンソーシアム(会長 松本晋一 オーツー・パートナーズ社長)が主催した。同甲子園は、AIを使った探究活動の成果などを競う。

(沢幸蔵)

2026.5.8 山形新聞掲載

✓ OB/OGとの接点

OGOBコミュニティへの参加を中間KPIとし、完成構築と県内回帰を目指す

専用オープンチャットにてOGOBコミュニティ化

- 1名のOBOGが企業訪問に参加。ディスカッションをリード。
- AI甲子園に2名のOBが参加



第2号議案
2025年度（令和7年度）収支・監査報告

2025年（令和7年）度 決算報告書

収益の部

（単位：円）

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
会費収入	2,000,000	2,169,000	169,000	正会員、賛助会員
事業収入（業務委託収入）	500,000	462,000	△ 38,000	山形市AI体験教室業務委託費
補助金収入（助成金収入）	15,100,000	18,509,419	3,409,419	山形県・県内市町村（山形市高校生デジタル人材育成支援事業費を含む）
協賛金収入（企業協賛金）	3,000,000	0	△ 3,000,000	企業スポンサー/パートナー
ソライでんき収入	100,000	10,759	△ 89,241	ソライでんき やまがたAI部プラン
スポンサー収入	600,000	1,000,000	400,000	AI部/AI甲子園広告スポンサー料
その他収入	300,000	169,223	△ 130,777	LINEヤフーテックアカデミー割戻金、他
前年度繰越金	168,955	168,955	0	
合 計	21,768,955	22,489,356	720,401	

費用の部

科 目		予 算 額	決 算 額	増 減	備 考	
事業費	コンソーシアム 全体運営	委託料	2,761,856	2,224,229	△ 537,627	全体業務(カリキュラム開発や企業訪問などの 実際の教育に関わる業務)
	オンライン オンデマンド部活	委託料	1,800,000	1,800,000	0	オンデマンド作成
		諸経費	580,000	517,000	△ 63,000	ゆでたまごキット・センサー、Eラーニング オープンバッチ
	企業訪問	委託料	810,296	472,704	△ 337,592	企画、運営、調整、同行
		交通費	340,000	229,024	△ 110,976	バス代、JR代
	A I 甲子園	委託料	528,548	528,548	0	企画、運営、調整
		委託料_県補助	1,200,000	1,320,000	120,000	監修、立案、検証
		交通費	200,000	202,025	2,025	バス代
		会場/諸経費	1,700,000	4,434,685	2,734,685	会場使用料、運営委託料、謝金、A I 甲子園 の成績優秀校に対する副賞としての研修旅行
	コーチング支援	委託料	350,050	630,050	280,000	
	ハイレベルプログラム	委託料	700,000	541,000	△ 159,000	
	県内回帰	委託料	716,000	716,000	0	メルマガ構築、情報発信、OBOG参画活動支 援
山形市業務委託	委託料	500,000	133,109	△ 366,891	やまがたAI体験教室チラシデザイン費、他	
管理費	コンソーシアム 全体運営	委託料	6,476,265	6,476,265	0	全体業務(事業費の全体業務を除くもの)
		諸経費	1,480,000	379,542	△ 1,100,458	交通費、通信費、HP利用料
	高校AI部全体運営	委託料	1,322,709	1,322,709	0	生徒募集、高校調整、備品手配管理
	事務局	委託料	200,000	272,115	72,115	総務・会計・広報・推進
	その他	税金	0	110,930	110,930	当期税金(源泉所得税等・法人税等・消費税)
予備費	-	103,231	0	△ 103,231	事務局委託料、他	
繰越金	-	0	179,421	179,421	次年度繰越金	
合 計		21,768,955	22,489,356	540,980		

2025年（令和7年）度 決算報告書

自 令和 7年 4月 1日
 至 令和 8年 3月 31日

当期経常収益	22,320,401
当期経常費用	22,309,935
当期正味財産増減額	10,466
正味財産期首残高	169,923
正味財産期末残高	180,389

〔単位：円〕

貸借対照表科目	場所・物量等	摘 要	金額
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	(株)荘内銀行霞城支店	運転資金	5,056,418
未収入金	山形市 (株)ペソラワークス	業務委託料 ライブ配信オペレート二重払	462,000 228,800
貯蔵品		収入印紙200×2	400
流動資産合計			5,747,618
資産合計			5,747,618
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	S q u a r e L L C (株)ジョイン	業務委託費用 A I 甲子園諸費用	5,239,581 217,473
預り金	山形税務署	源泉所得税	1,575
未払法人税等	山形県・山形市	法人県民税・市民税	79,200
未払消費税	山形税務署	消費税及び地方消費税	29,400
流動負債合計			5,567,229
負債合計			5,567,229
正味財産			180,389

監査報告書

やまがたAI部運営コンソーシアムの令和7年度における収入、支出決算報告書類等について監査した結果、その収入、支出については正確なものと認めましたので報告いたします。

やまがたAI部運営コンソーシアム

会長 松本晋一 殿

令和8年5月20日

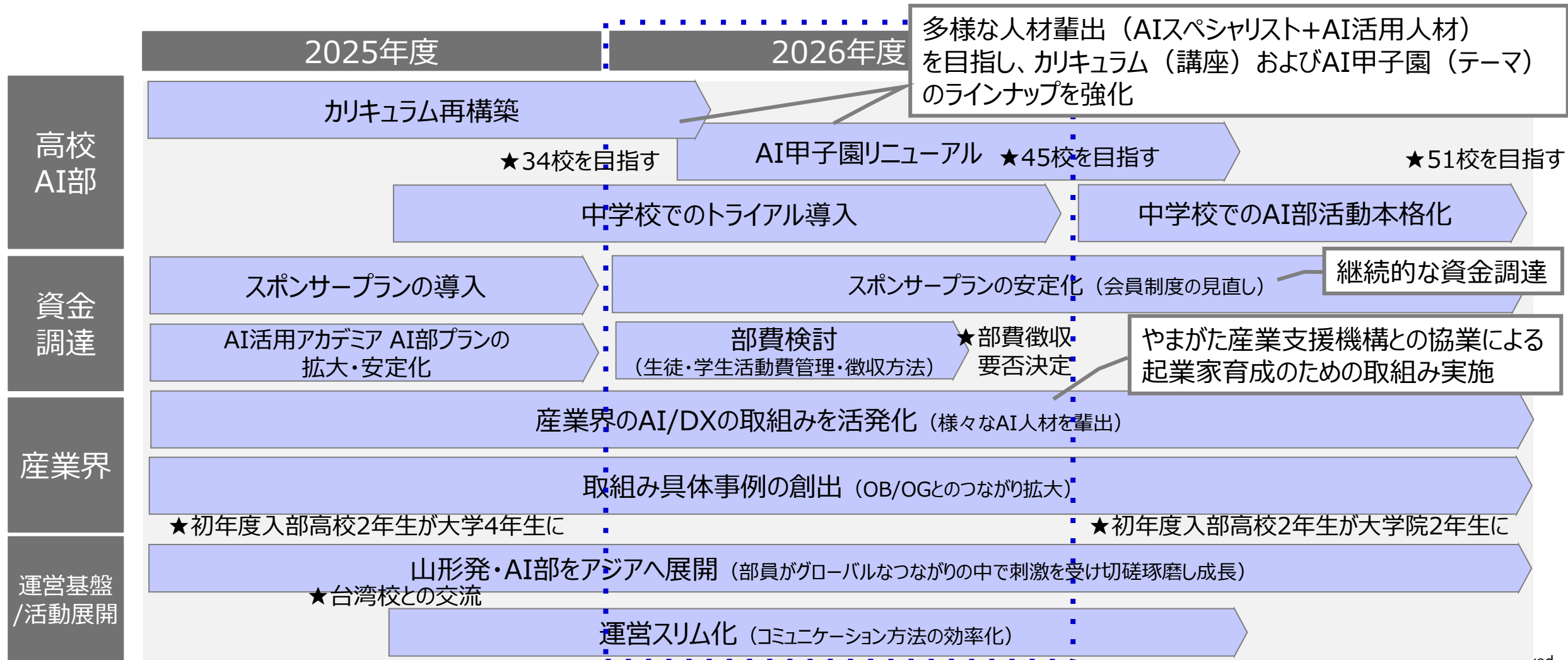
監事 阿部 奇三 一 

監事 鈴木 拓志 

第3号議案
2026年度（令和8年度）事業計画（案）

中期計画（2025年度～2027年度）

【2026年度】 ✓ 生成AIの急速な普及と高校での探究学習の深まりを踏まえ、より「実装」と「探究」を重視した活動へ進化



✓生徒の声…『学び・制作・交流を通じ、仲間と一緒に成長したい』

1 話せる、ハッカソンみたいなもの

話しながら、一緒に考えたり発表したりできる場に期待。



2 友達できたり、楽しく話せる環境

他校の生徒と自然に交流し、仲間が増える場がほしい。



3 協力して何かを制作する

チームで力を合わせて、作品やサービスを作りたい。



4 他の学校がどんな活動をしているか知れる内容

他校の取り組みやアイデアを知り、刺激を受けたい。



5じっくり作る(探究)がいい

その場の一発勝負より、考えて作り込む形が人気。

探究	競技
11名	5名



6 生成AIをテーマにやってみてほしい

新しい技術をテーマに、実践的で面白い挑戦をしたい。



画像は生成AIにより作成

- リアル・オンラインの活動を通じて交流
- 「実際に使える・動かせるAI」を学べる講座を企画中

✓ 生徒の声をもとに“公平に競えて、実際に役に立ち、独創性のあるテーマ”へ進化



公平性

参加者の環境差に左右されず、誰もが挑戦しやすい競技へ。

“ pcの性能などで差ができない勝負

“ 「競い合える平等なテーマ」



実用性

社会や日常で役立つものを、自分たちの手で形にする。

“ 実際に世界であったら便利なこと」

“ 「実際に使えるレベルまで作り込んだサービス」



独創性

答えが一つではないからこそ、発想力や工夫が評価される。

“ 「独創性が問われるもの」



反映したいテーマ・競技案（具体化の方向性）

新しい技術や“動くAI”にも挑戦できる大会へ。

“ 生成AIをテーマにやってみてほしい

“ フィジカルAIを使って正確なプログラムを作り、正確に動かせるかという大会も面白そう」

画像は生成AIにより作成

- 「じっくり取り組む探究テーマ」と「気軽に参加できる競技テーマ」の2軸
- 生成AIやフィジカルAIなど新しい技術要素も取り入れる

第4号議案
2026年度（令和8年度）予算（案）

2026年（令和8年）度 収支予算（案）

自 令和 8年 4月 1日
至 令和 9年 3月31日

収益の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
会費収入	2,169,000	2,000,000	169,000	正会員・賛助会員
事業収入（業務委託収入）	500,000	500,000	0	山形市業務委託費
補助金収入（助成金収入）	11,600,000	15,100,000	△ 3,500,000	県・市町村
協賛金収入（企業協賛金）	0	3,000,000	△ 3,000,000	企業スポンサー/パートナー
ソライでんき収入	10,000	100,000	△ 90,000	ソライでんき やまがたAI部プラン
スポンサー収入	0	600,000	△ 600,000	AI部/AI甲子園広告スポンサー料
その他収入	170,000	300,000	△ 130,000	LINEヤフーテックアカデミー割戻金、他
前年度繰越金	179,421	168,955	10,466	
合計	14,628,421	21,768,955	△ 7,140,534	

費用の部

科 目		本年度予算額	前年度予算額	差異	備 考	
事業費	コンソーシアム 全体運営	委託料	4,418,608	2,761,856	1,656,752	全体業務（カリキュラム開発など実際の教育に関わる部分）
	オンライン オンデマンド部活	委託料_県補助	1,800,000	1,800,000	0	オンデマンド作成、Eラーニング構築
		諸経費	480,000	580,000	△ 100,000	Eラーニング環境運用（クラウド）
	企業訪問	委託料	351,417	810,296	△ 458,879	企画、運営、調整、同行
		交通費	0	340,000	△ 340,000	交通費、会場使用料、他
	A I 甲子園	委託料	0	528,548	△ 528,548	企画、運営、調整
		委託料_県補助	0	1,200,000	△ 1,200,000	監修、立案、検証
		交通費	0	200,000	△ 200,000	交通費、会場使用料、他
		会場／諸経費	0	1,700,000	△ 1,700,000	
	コーチ	委託料	441,925	350,050	91,875	コーチ取りまとめ
	ハイレベルプログラム・コーチ	委託料_県補助	200,000	700,000	△ 500,000	ハイレベル座学、追加講義、コーチカリキュラム監修、検証、検討、他
	事務費（旧県内 回帰）	委託料_県補助	300,000	716,000	△ 416,000	メルマガ構築、情報発信
A I 体験教室事業	委託料	250,000	500,000	△ 250,000	チラシデザイン・運営	
管理費	コンソーシアム 全体運営	委託料	2,236,029	6,476,265	△ 4,240,236	全体業務（事業費の全体業務を除くもの）
		諸経費	2,030,000	1,480,000	550,000	交通費、通信費、HP利用料、広告宣伝費、他
	高校AI部全体運営	委託料	567,946	1,322,709	△ 754,763	生徒募集、高校調整、備品手配管理
	事務局	委託料	200,000	200,000	0	会計
	その他	諸経費	1,000,000	0	1,000,000	
		税金	120,000	0	120,000	当期税金（法人税等、消費税）
予備費			232,496	103,231	129,265	予備費、臨時アルバイト代
合 計			14,628,421	21,768,955	△ 7,140,534	

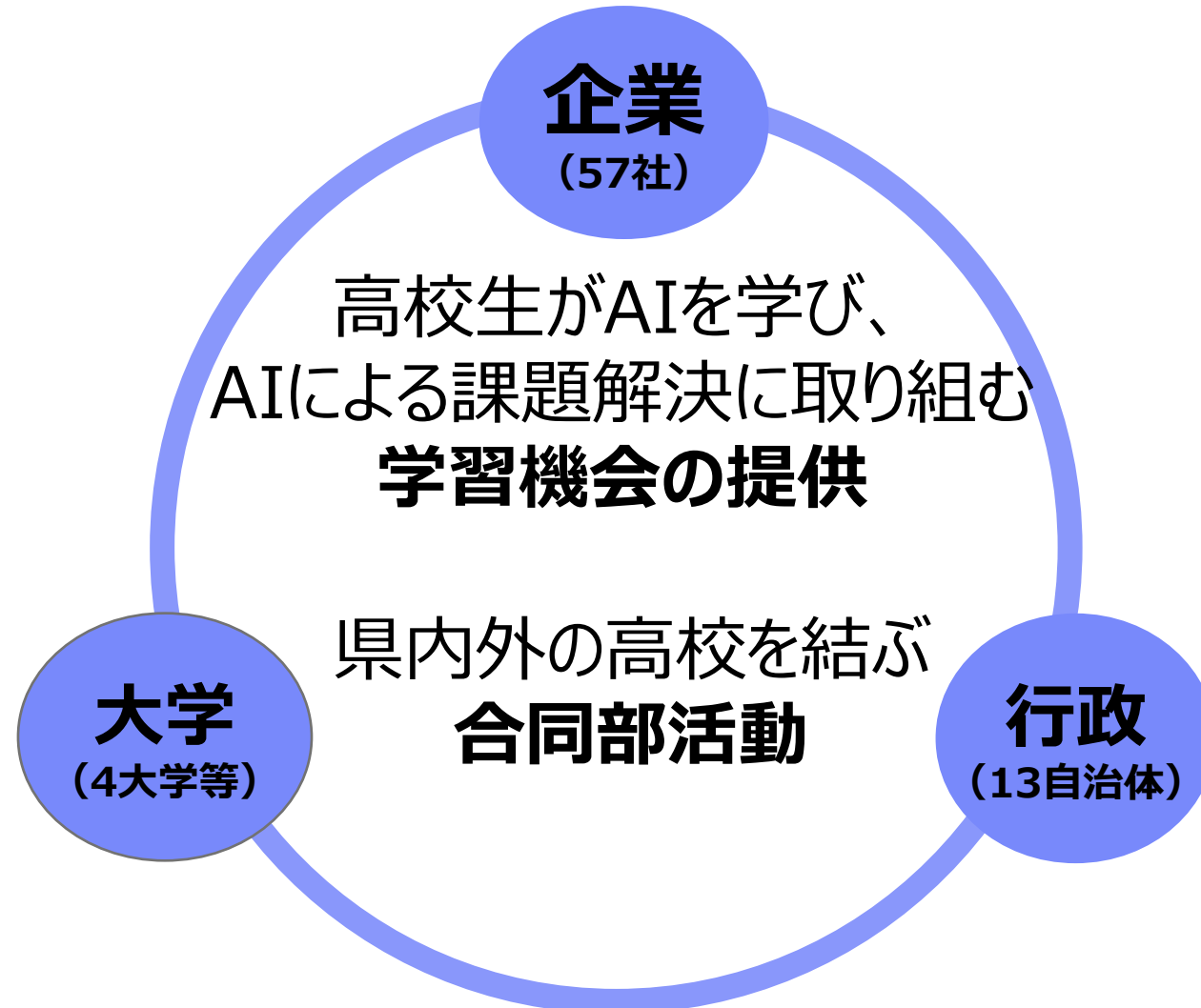
その他

山形発の活動を、山形でさらに根づかせるために

- ✓ 2026年度に向けて、皆さんと一緒に検討したい点
 ～ 学校・企業・自治体が参加しやすい形を整え、山形発のAI教育をさらに広げていきます ～

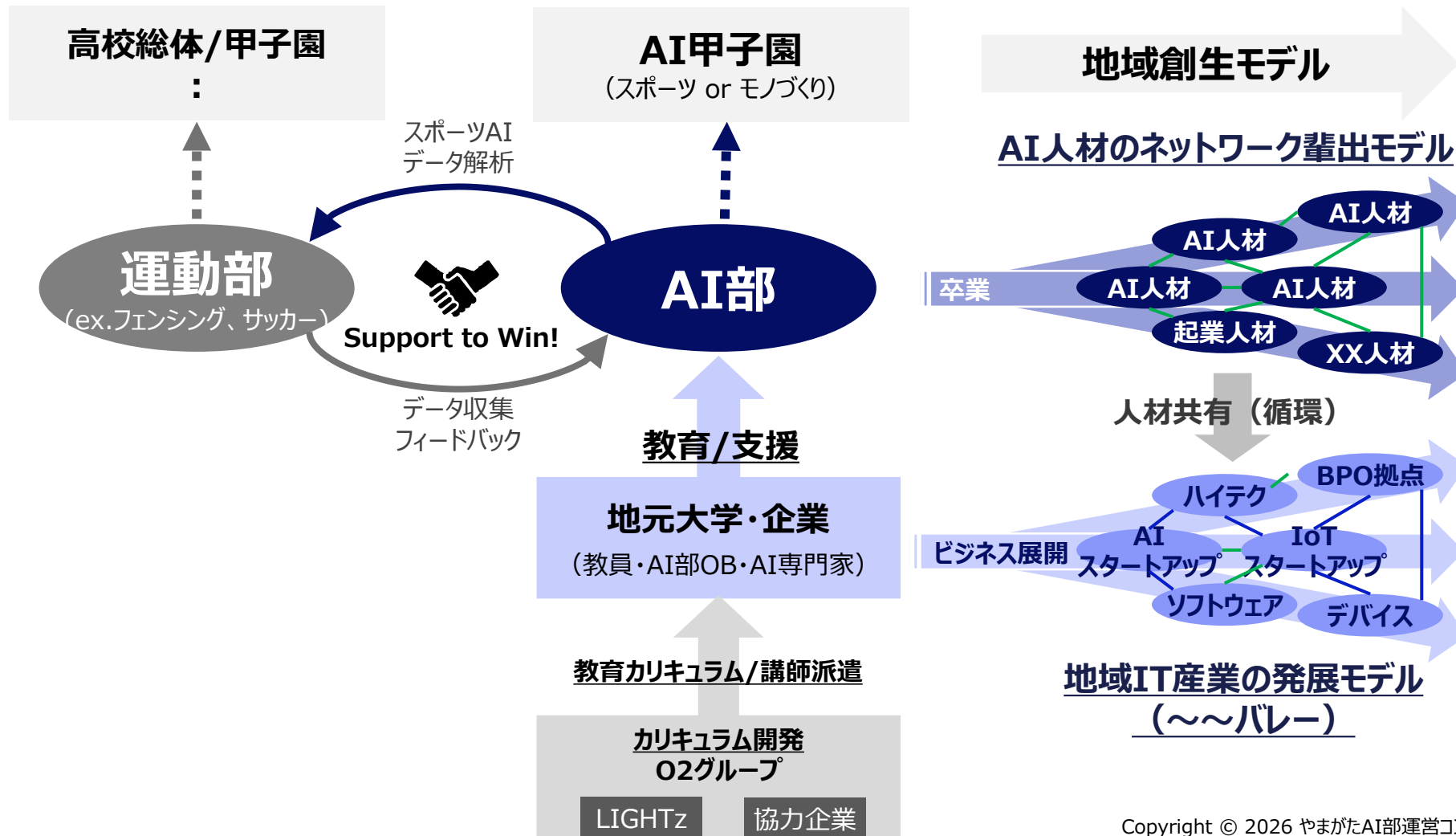
課題	2026年度目標	対策（例）	
県内参加校・参加生の拡大	・参加校数：45校 ・AI甲子園の参加促進	1	企業・大学との講座・実地体験の充実
		2	参加生の挑戦意欲を高めるAI甲子園の開催
		3	教員の負担を抑えた参加しやすい運用設計
持続可能な運営	・産官学連携による運営基盤の強化	1	産官学の役割を再定義
		2	無理なく継続できる費用負担・支援方法の検討

産官学連携による運営コンソーシアム



21世紀に向けて持続的成長可能な県内循環経済圏を構築

■ “AI部・同好会”を起点に地域創生（人材/産業）へ

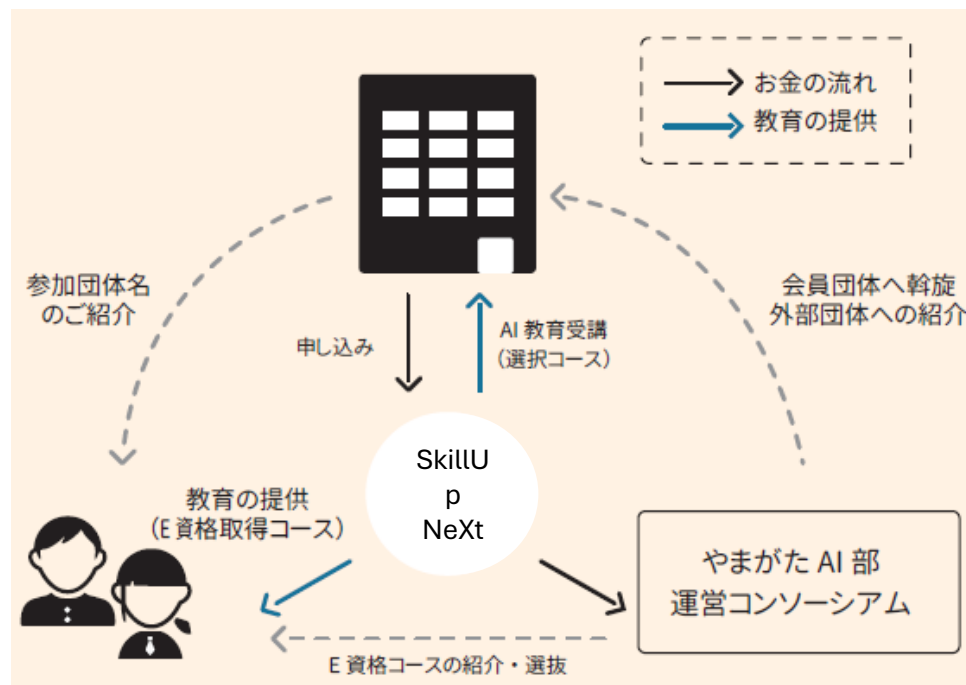


LINEヤフー テックアカデミーから ご案内

スカラシップ制度のご案内

～ 皆さんにAIを学んでいただくことで高校生のAI学習を応援できます～

申込団体へ：教育カリキュラムを特別価格で提供
 高校生へ：”E資格コース”を無償提供。レベルの高い学びをサポート



SkillUp NeXt社：国内で体系立てたAI教育を先導するAI企業

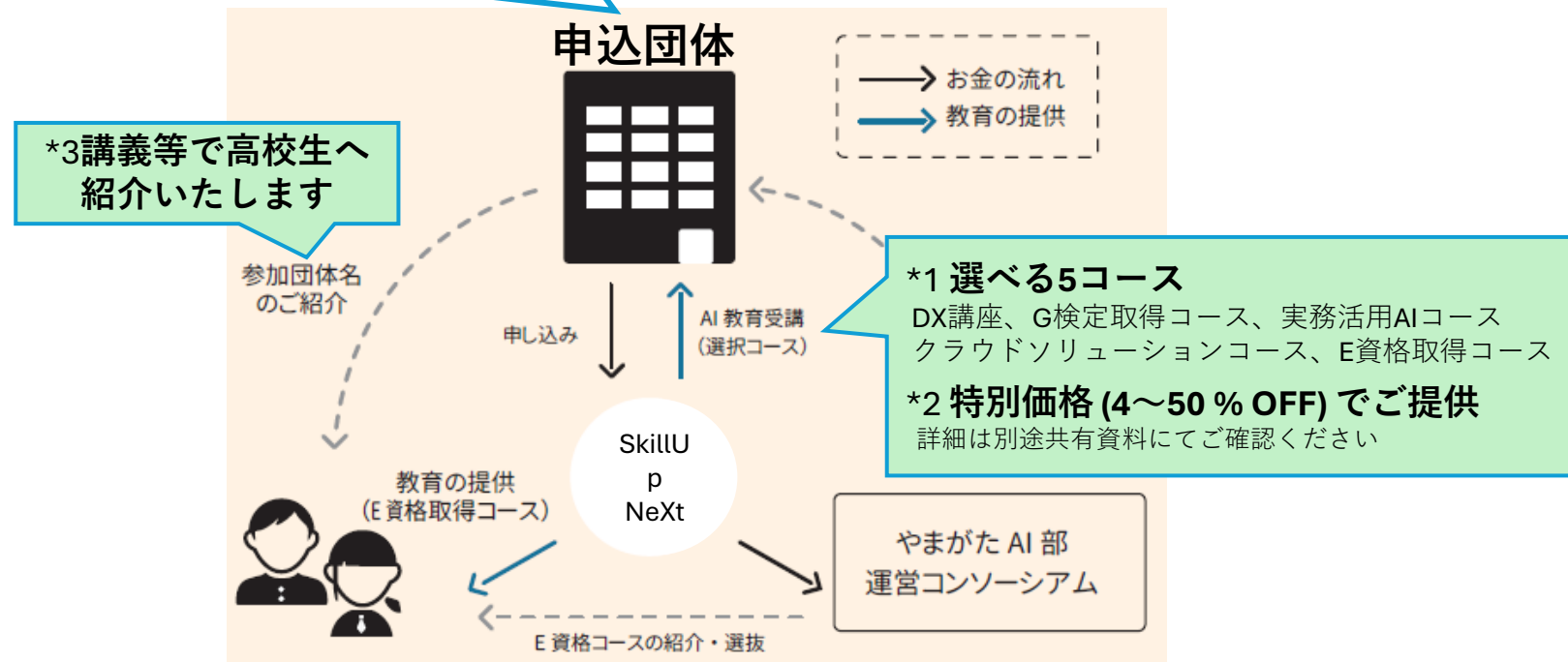
※日本ディープラーニング協会公認プログラム第1号 取得

スカラシップ制度のご案内

～ 皆さんにAIを学んでいただくことで高校生のAI学習を応援できます～

スカラシップを活用する2つのメリット

- ・ SkillUp NeXt社の教育プログラム*1を特別価格*2にて提供
- ・ 高校生へご支援団体*3として紹介



お問い合わせ・お申込み

ミクロン精密 (株) 石山まで

Email: yamagata-aibu@micron-grinder.co.jp

※受講料の一部はやまがたAI部運営コンソーシアムの運営に活用します